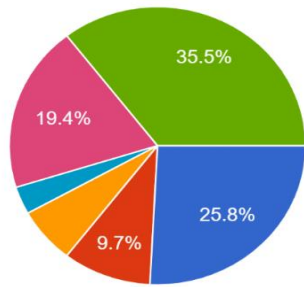


1. あなたの所属を教えてください。

31件の回答



- 生活介護事業所
- 共同生活援助事業所
- 施設入所支援
- 短期入所
- 行動援助事業所
- 医療従事者
- 教育機関
- その他

1. 所属	2. 講演についてのご意見・ご感想をお聞かせください。
施設入所支援 (2)	<p>考え方など改めて振り返れて良かった</p> <p>医療との連携の大切さを再確認した。今までは、支援の分野を福祉、投薬調整の分野を医療と連携といいつつ、分かれているイメージを何となく抱いてしまっていた。しかし、最近そして本日の講演で、他職種がスクラムを組んで支援するイメージにかわった。そのスクラムの中の医療チームの存在が心強く感じた。</p>
生活介護事業所 (8)	<p>参考になる講演内容でした。</p> <p>医療の側から強度行動障害の方の支援についての見解を聞くことが出来て興味深かったです。行動障害が激しいとつい、「薬を飲めば」と発想してしまいましたが、今一度支援にまずさはなかったかを考えたいと思いました。</p> <p>とてもわかりやすく、また面白くて2時間半があつという間でした！</p> <p>まずは強度行動障害について具体的にこのような研修が開催されたことを嬉しく思います。また村上さんからこれ一回で終わらせるつもりはないという発言が聞かれたのも力強く感じました。</p> <p>アンケート報告、来住先生のお話ありがとうございました。先生の資料が事前に配布されていればありがたかったです。</p> <p>医療分野からの強度行動障害への状況を聞いたことや行政分野で先進的に取り組んでいる事例などを聞けた。</p> <p>実際に医療の現場で強度行動障害の難しいケースを沢山知っておられる来住先生の言葉は重みがあり、とても貴重なお話でした。お話もとてもわかりやすく率直な言葉で医療の現場の現状を知ることが出来ました。ただ、支援員5年目の私には難しい言葉や聞き慣れない単語も多くメモするのがやつの所も多くありました。(知るきっかけになったので良いですが)紹介して下さいた北九州市と横浜市の資料もとても参考になりました。研修会の最後に仰っていた「これしないと死なれへん」の言葉がとても印象深く来住先生の人柄も表している気がしました。利用者の方の中に岡山精神科医療センターに通院している方が居ることもあり、こういう方が精神科医療のトップに居て下さるのは有難いなと思いました。また来住先生のお話を聞く機会があれば是非参加したいと思いました。</p> <p>他県の実践の話もあり興味深く聞かせて頂きました。</p>
共同生活援助事業所 (3)	<p>わかりやすいお話で良かった。他県の福祉制度の情勢なども調べておられて、医療だけではなく、福祉現場や行政とも連携が必要だと言われていて、その通りだと思った。現場で出来る工夫を頑張ろうという気持ちになった。</p> <p>とても良い講演でした。</p> <p>他法人の取り組みが勉強になりました。</p>
教育機関 (6)	<p>担任したことのある生徒の中にも長期間入院した経験のある生徒が複数います。その生徒たちが、医療の重要性より、あまり良くないイメージを持っている生徒が少なからずいて、先生は学校や福祉との連携も大切に考えてくださっているのに、病院へのマイナスイメージを無くしたり、減らしたりするにはどうしたらいいのだろうと考えさせられました。</p> <p>未来に向かって、福祉、医療、行政、教育がそれぞれに、そして連携してすべきことを考える、良い機会となりました。</p> <p>とても勉強になりましたし、生徒の支援の仕方について見直そうと思いました。</p> <p>福祉の方が考えられている課題や今後の方向性を伺うことができ、参考になりました。学校のほうでも共有し、連携していけるようにしていきたいと思いました。</p> <p>強度行動障害の捉え方だけでなく、他県の取り組みも伝えていただき、具体的で分かりやすい講演でした。強度行動障害が現れている人は、合理的配慮が必要な人ととらえ直すと、すべきことがより明確になることに気づかされました。とても、ためになる内容でした。来住先生のパワーポイントの資料を是非ダウンロードして、手元に置いておきたいです。</p> <p>来住先生よりいろいろな市の事例を教えていただき、大変参考になりました。ありがとうございました。</p>

従事者	私自身も養成研修を受けましたが、医療従事者ももっと研修を受けれるとよいと思いました。入院してこれまでの支援や関わり方が途切れて本人が混乱しないようにしないと行けないと思いました。外来においても診察室などハード面など工夫できることがあるのではないかと思います。他県の先進的な取り組みも知ることができてよかったです。
その他 (11)	来住院長から、強度行動障害の基本的なことや他地域の取り組みを聞くことができ、勉強になりました。思春期頃から行動が始めめる人が多く、教育や医療との連携が大事なのだと思いました。強度行動障害者は合理的配慮がとて必要な人という言葉がストンと入ったような気がして、できる限り歩み寄って支援を提供していくことが求められるのだらうと思いました。
	来住院長の話しはとて分かり易く説明して下さり良かったです。ティール、泉学園、ヘルパーライトの方々の実践紹介がとて参考になり良かったです。動画での紹介が良かったです。
	北九州市などの先進事例や、医療と福祉の教育の連携のあり方などをお聞きでき、また当事者の方への尊厳が感じられるお話で、とて良かったです。
	強度行動障害支援の実際がわかり、とて勉強になりました。
	強度行動障害について、非常に分かりやすくお話していただき、大変参考になりました。また、環境の関わり、医療、福祉、学校関係の連携の大切さを再認識することができました。
	横浜や福岡の取り組みを織りまぜながらのおはなしで、なるほどと思いながら拝聴いたしました。福祉と医療、行政との連携。それぞれが半歩前へ歩むこと。半歩でも前進には違いない。これからも様々なことを知っていこうと思いました。
	行動障害者についての実情を学びたかったので、どのような課題があり対応されているかとて勉強になりました、
	初めて参加させてもらい、わからない事だらけで勉強になりました
	最近強度行動障害支援者研修を受けたこともあり、とてスムーズに話が入ってきました。来住先生の講演があることで、医療側から見た強度行動障害の状態にある人の捉え方を聞くことができたのかなと思います。精神科領域の利用者さんと普段関わることが多いためか、どうしても不安定な状態に対して通院や服薬という手立てにいきがちですが、決してそれだけではないということ周りのスタッフにも伝えていけたらなと思いました。
強度行動障害は「合理的配慮が必要な人」なんだという言葉が印象に残りました。SPELLの原則も気にかけていきます。	

所属	3. シンポジウムについてのご意見・ご感想をお聞かせください。
施設 入所 支援	いろいろな事例や取り組みが聞けたので良かった 今まで統一した支援が重要と分かっているも統一を図る難しさ、支援者支援の難しさばかり感じていたように思う。利用者の過度な支援者への依存や間違った支援者の関わりが行動障害を強化する。支援者が環境・状況要因となることから、人が影響を与える割合は大きい。そのことを頭では分かっているも環境要因になってしまうことが多くある歯がゆさを感じていた。しかし、このシンポジウムで共通していたこと、誰が関わっても同じ結果が得られるようなパッケージ、すなわち利用者が自発的に自分でできる。が、キーワードと感じた。我々、支援者は支援しないといけない、働きかけをしないといけないという思いから多干渉になる傾向がある。自発的にできるまで、支援、働きかけをしてできるようになったら見守る。すぐ、心に刺さった。また、強度行動障害支援者養成研修のフォローアップとして、すでにあるのかもしれないが、学生が10日間程の介護、保育実習を行うように法人を越えた強度行動障害実習、実習受け入れが行える仕組みができればと思う。
生活 介護 事業所	いろいろな事業所の事例を聞かせていただき、今後に役立てたいと思いました。 GHや行動援護の実践例や考えを聞くことが出来て大変刺激を受けました。支援者に対する支援（フォロー）の難しさを感じているので、色々な分野と積極的に連携を図りたいと思いました。
	もっと時間があれば他の事業所の様子も聞きたかったし、成功例だけではなく失敗例なども聞きたかったです。
	強度行動障害について多職種連携して問題解決が図れる仕組みを近い未来に見ることができました。
	異なる事業でのそれぞれの具体的な取り組みを見ることが出来て勉強になりました。 各事業における強度行動障害に対する支援の重要なポイントを聞いたのがよかった。
事業所 生活 介護	実際の動画や画像がとて参考になりました。取り入れたいと思う取り組みもありました。赤松さんの利用者さん本人が自立して安心して過ごすための支援のお話はとて共感しました。また、新谷さんのお話がとてわかりやすく、現状の課題点がよくわかりました。新谷さんの言葉は温かく、支援についてのお話をもっと聞きたかったです。 現場の実践の話があり、具体的でわかりやすかったです。
共同 事業 生涯	強行者に特化したグループホームを作ろうと、一から作りあげられたのは素晴らしい。ソフト面でも色々工夫されており、大変参考になった。泉学園さんも、初めて受け入れる決心をした勇気も素晴らしいし、それで現場のスタッフが変わったというのが素晴らしいと思った。ライトさんは、日中系の事業所で受け入れ困難な方に、1対1で向き合って支援されて、本当にありがたいと思った。

<p>所 援 助</p>	<p>時間の都合上やむ終えないとは思いますが、もう少し深い話を聞きたかったです。現場の支援は参考になりました。</p>
<p>教 育 機 関</p>	<p>人でなく環境で動けるように という言葉が印象的でした。心にとめて職務にあたりたいと思います。</p> <p>とても沢山の宿題をいただいたような気がしています。在学中に好きなことを見つけておくことも、卒後の生活を組み立てる上で大切ですね。</p> <p>未来に向かって、福祉、医療、行政、教育がそれぞれに、そして連携してすべきことを考える、良い機会となりました。立場が異なる、パネラーが揃い、新谷先生のコメントもあり、有意義でした。</p> <p>本人がわかって動ける支援というのはとても大切だと思いましたし、一人で過ごせる余暇活動を在学中に一つでも増やせたらと思いました。</p> <p>それぞれの事業所で、利用者の方のよりよい生活のために工夫されているのがよく分かりました。学校でしておいた方がよいことや身につけておきたい力のヒントもいただきました。</p> <p>それぞれの立場からの生の声がどれも心に響き、自分もできることを真摯に考えなければと痛感しました。いろいろな役割を果たす人がいるから、救われる人が増えるということを実感をもって伝えてくださったことがとても良かったです。講演とシンポジウムのお話に圧倒され、モデルとして取り組むほどの事例をもっておりませんが、教育現場で一人一人に合った支援の在り方を地道に考えていきたいと思っています。貴重な研修をありがとうございました。</p> <p>強度行動障害の支援について各事業所の話と新谷先生の助言をお聞きすることができ、参考になりました。学校でできることをしっかりと行って行きたいと思っています。</p>
<p>従 事 者</p>	<p>強度行動障害の方に対応できる支援者を増やし、家族も安心して相談や生活ができる環境を作らないといけません。配布された資料の中に理解がないために陰性感情を持ってしまう支援者の資料がありましたが、虐待とはならなくても同じように感じている家族もたくさんいるだろうと思いました。フォローアップや実践研修をぜひ開催してほしいです。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>豪華なパネリストの方々の実体験に基づくお話を聞いて、大変勉強になりました。強度行動障害の方への支援について、具体的にいつ、どのように、何をしたら良いのかというヒントをたくさんもらった気がします。</p> <p>一施設、一事業所で問題を抱え込まずお互いに共有することが重要であることがわかりました。</p> <p>実際に支援者として強度行動障害の方々へ関わりを持つ立場での講演は、分かりやすく尚且つ今後の支援に役立てる事ができると感じた。</p> <p>それぞれの現場の様子が分かりやすく、学校や施設の間でノウハウを移行していくことや施設が孤立しないよう連携をしていくことの大切さを感じました。</p> <p>シンポジストの方の取り組みは本当に勉強になりました。また、新谷所長のご提言も非常に参考になりました。残念だったのは、フロアからの意見を聞く構成がなかったことです。進行の方のご発言をコンパクトにして、フロアからも意見を募っていただきたかったです。</p> <p>実際に症例や事業所の取り組みなどを知ることができ、とても興味深くお話を聞かせていただきました。</p> <p>映像での取り組みを見て、とても分かりやすく、理解が不拡散になりました。変な常識にとらわれない大切さ。その方が心地よく過ごせる事が最優先であることがよくわかりました。現場の支援者さんに本当に感謝です。</p> <p>個別の対応の工夫、連携の大切さが伝わりました</p> <p>事業所の具体的な取り組みを聞くことができて良かったです。特にヘルパーライトの実践を聞き、ヘルパー事業所でここまでやっているところがあるのか！と驚きました。私も現在、強度行動障害の状態にまではいかないですが刺激によって行動化する利用者さんがおり、どこかへ通所したいという希望はありながらもそれが刺激になってしまうのではと思い在宅サービスのみ利用にとどまっている利用者さんがいます。ヘルパーライトさんの話の中にも、通所への移行という視点で関わっているとされていたので、支援者とそのあたりのことについて考えて行かないといけないなあと感じました。少しマイクの調子なのか小田桐さんの声が聞き取りにくい部分がありました。せっかくいいお話をされていたので少し残念に思いました。</p> <p>このメンバーのお話を聞いてよかったです。もう1時間くらいあってもいいのにと感じてしまいました。特に泉学園の河本氏の強度行動障害の方を受け入れることで、事業所のレベルアップに繋がっていくという視点はとても参考になりました。</p>